

2025年4月6日(日) 第二礼拝「ねばり強い祈り」ルカ 11章5～8節

イエス様は、祈りを教えてほしいという弟子たちの要請により主の祈りを教えてくださいました。また、それをどのように祈るかを具体的に教えられました。真夜中、友が訪ねて来ましたが、家には食べ物がありませんでした。そこで別の友の家に行き、パンを三つ貸してほしいと頼みました。その友は断りますが、あくまで頼み続けるなら、起き上がって必要なものを与えるでしょうと、イエス様は言われ、粘り強く祈ることの重要性を教えられました。

第一番目、三つのパンです。「…あなたがたましいに幸いを得ているように、すべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。」(Ⅲヨハネ2節) 三つのパンとは、霊と魂のためのパン、全ての必要を満たし、体を健やかにするパンです。それは友であるイエス様の家にある、いのちのパン(御言葉)です。イエス様のパンは私たちの霊を生かし、神様との交わりを与え、私たちの霊が水と御霊によって生まれ変わり、御声を聞いて生きる者へと変えてくださいます。また、行くべき方向性を示し、問題の中にあっても守られ、繁栄を与えられます。たとえ病気であっても、主のパンは私たちを健やかにする、いのちのパンです。

第二番目、祈りは親密な友に祈るものです。神様は「アブラハムはわたしの友だ」と言われました。神様はご自分の願いをアブラハムに伝え、彼の願いも聞かれました。神様の願いはアブラハムの子孫を通してイエス様を与えること、そしてイエス様の十字架を通して人々が救われることでした。イエス様もまた弟子たちに「あなたがたはわたしの友です」と言われ、ご自分が十字架にかかり、死んでよみがえることをお知らせになりました。その言葉通り、イエス様は父の願いを十字架で成し遂げられました。「…彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。」(イザヤ53:5) 主は私たちのために死んでくださるほど、私たちの罪の赦し、魂やすべての点での幸い、健康を願っておられます。ですから、私たちも神様の御心が天になるごとく、地にもなるように祈るのです。

第三番目、粘り強い祈りです。真夜中、戸締りをして、子どもたちも寝ているので、起きてパンを与えることはできないと友人から断られても、その人が粘り強く、あくまで頼み続けた時、必要なものを得ました。神様は私たちに良いものを与えたいと願っておられます。しかし、そこで障害になるのは、頼んでも与えられないかもしれないという不信感と恐れです。会堂管理者ヤイロはイエス様の元に来て、死にかけている一人娘が直って助かるように懇願しました。イエス様は、それを聞いて娘を癒すためにすぐに出発されました。その時、娘は死んだという報告が来ましたが、イエス様は「恐れなくて、ただ信じていなさい。」と言われました。韓国の大統領のために多くの人たちが祈っていましたが、先日、大統領は弾劾されました。「もう娘(韓国)は死んだ」という声が聞こえる中で、イエス様は「(韓国は)死んだのではない。眠っているだけです。」と言ってくださいます。主が「タリタクミ(少女よ、起きなさい)」と言われて、娘の息が戻ったように、韓国も生きるようになると信じます。このように、祈りとは環境を見ずに、恐れなくて信じ、求め続けることです。アーメン！